

## 令和5年度 日野川工水の漏水工事（予防工事を含む）の報告

令和5年度は予防工事を4月に2回、6月に1回実施し、漏水予防対策を講じました。  
また、5月、11月、12月に漏水事故が発生し、漏水応急対策工事を行いました（下記①～③）。

- 4月15日 予防工事（米子市富益町）：4月15～16日断水
- 4月22日 予防工事（米子市夜見町）：4月22～23日断水
- ①5月1日 漏水（米子市富益町）：5月1～2日断水
- 6月3日 予防工事（境港市竹内町）：6月3～4日断水
- ②11月12日 漏水（米子市大篠津町）：11月15～16日断水
- ③12月29日 漏水（米子市和田町）：R6年1月5～6日断水

漏水工事やこれに伴う断水によりユーザーの皆様、近隣の方々にもご迷惑をおかけしましたが、何とか無事に復旧工事が完了できました。



## 令和6年度 日野川工水の工事予定

漏水予防対策工事に加えて、新規ユーザー向け（境港2件、米子2件）の新設配管を行います。（追加があれば都度）

また、米子市道安倍三柳線改良事業に伴う配水本管の布設替も行う予定としております。

下表に主な工事を示しております。

令和6年度も変わらずご協力よろしく申し上げます。

### 令和6年度の主な管路工事

2月～6月 給水管布設工事（境港市芝町）

4月 漏水予防工事（米子市和田町）

6月～翌2月 配水支管改良工事（境港市昭和町ほか）

9月～翌4月 配水本管改良工事（米子市両三柳）

※断水が伴う場合は、別途通知を行いますので確認をお願いします

## 編集後記

令和5年度は渇水による取水制限等はありませんでしたが、近年はいつ渇水になってもおかしくない状況であり、節水が必要な場合はご協力をお願いいたします。

抜本的な管路改修も考えていく時期に来ており、ユーザーの皆様とよく調整を図りながら進めて参りたいと考えます。

この工水だよりでは皆様に分かりやすい情報を随時伝えていく予定としておりますので、これからもよろしくご協力いたします。

### お問い合わせ先

鳥取県企業局経営企画課 **0857-26-7444**（営業誘致）

鳥取県企業局西部事務所 **0859-26-0017**（施設管理）

## 鳥取県企業局西部事務所

# 日野川 工業用水道だより

第**4**号  
令和6年2月



## ユーザーの皆様とともに

日野川工業用水道のユーザー並びに関係者の皆様におかれましては、日頃から事業運営にご支援を賜り感謝いたします。

また、昨年末に発生した漏水に際し、年末年始期間に減圧及び断水をお願いすることとなり、ユーザーの皆様にご迷惑をおかけしたことをお詫びするとともに、ご理解いただきお礼申し上げます。

日野川工業用水道事業は、工業生産基盤の整備強化及び県内産業経済の振興に寄与し、日野川を水源とした良質な工業用水を安定的かつ継続的にユーザーの皆様へ供給することを目的としています。現時点（令和6年2月1日）では、新たにご利用いただくユーザーもあり、89社に供給しているところです。

本工業用水は、日野川の伏流水を主たる水源とした良質な水を供給していますが、近年の日野川の渇水による取水制限や度重なる豪雨による濁度上昇に苦慮しながらも、ユーザーの皆様へ影響を及ぼさないよう水量・水質の確保に努めているところです。

また、工業用水道施設は昭和43年の運営開始から55年を経過し、設備の老朽化対策が直近の課題となっています。老朽化した取水・浄水施設の機器の更新を行うと共に、配水本管の漏水予防対策を最優先として毎年計画的に実施し、緊急断水を伴う漏水の防止を図っています。

今後もユーザーの皆様へ安定した工業用水を供給できるよう設備の維持管理を行い、品質確保に努めながら、安心してご利用頂けるよう努めてまいります

今後とも企業局の事業運営にご協力いただきますようお願い申し上げます。

鳥取県企業局西部事務所長 重光 卓



鳥取県企業局  
西部事務所長

## 令和4～5年度 PC 管路の調査結果について

日野川工業用水道事業の配水管は供用開始から55年が経過していることもあり、近年、PC管※1区間において管のつなぎ目からの漏水が毎年2～5件発生しております。

漏水の都度、内面止水バンドを装着し対応するとともに、今後、漏水のおそれがある箇所についても漏水予防対策として、内面止水バンドの装着を進めています。

また、PC管本体の劣化度※2を把握するために、PC管区間全体を対象として、令和4～5年度に試掘調査（道路を掘削し管の外側から直接目視で健全度を把握）を行いました。

その結果は、8管中7管が劣化度Ⅲで『早期に対策を講じる必要がある。』となり、PC管本体の老朽化が進んでいる状態であることが判明しました。

※1 PC管とは、プレストレストコンクリート管の略で、コンクリート管にPC鋼線を緊張しながら巻き付け大きな内圧に耐えられるようにした管（下図参照）です。日野川工業用水道の配水管約2.5kmのうち約1.5km（60%）を占めています。

※2 劣化度Ⅰ：健全な状態。当面は問題ない。10年以内に再調査が望ましい。

劣化度Ⅱ：今後10年程度で劣化度Ⅲ、Ⅳに至る可能性がある。

劣化度Ⅲ：PC鋼線発錆の可能性が高い、或いは発錆を確認しており、早期に対策を講じる必要がある。

劣化度Ⅳ：PC鋼線の破断の可能性が高い、或いは破断を確認しており、緊急に対策を講じる必要がある。

[ 出典：PC管本体の劣化に関する調査・診断マニュアル（案）・独立行政法人水資源機構 ]

### < 試掘調査結果 >

調査時期	調査手法	調査対象 箇所数×管数	評価結果（劣化度）				備考
			I	II	III	IV	
R4.8～10	試掘調査	5箇所×1管	1		4		米子市内
R5.7		1箇所×2管			2		境港市内
R5.9		1箇所×1管			1		境港市内

### 日野川工業用水道の配水本管におけるPC管と漏水事故の状況



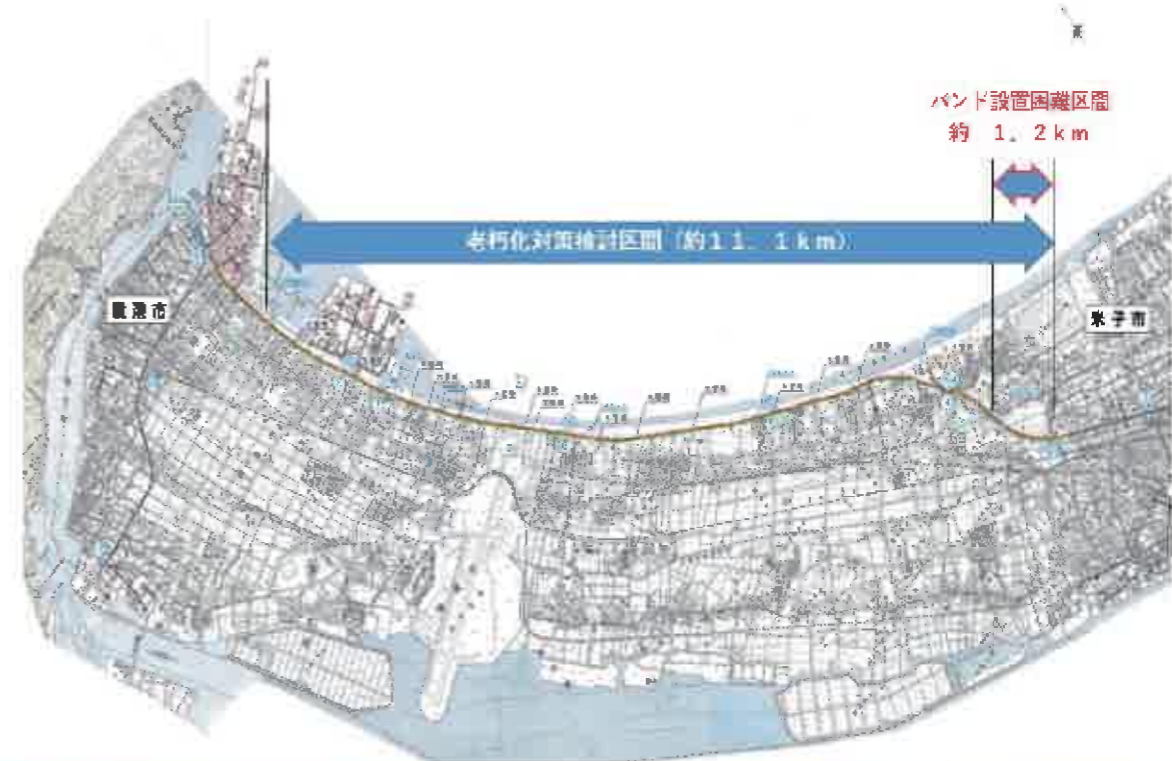
試掘調査状況 (R5.7)

## PC 管区間の試掘調査結果を踏まえた今後の対応について

今後、企業局としては、PC管のつなぎ目からの漏水予防対策として内面止水バンドの装着を継続的に実施していきませんが、漏水が多発している弓浜半島の区域全体におけるPC管本体の抜本的な老朽化対策の検討や、配水管の設置環境により内面止水バンドが設置できない区間（米子市両三柳 約1.2km）におけるバイパス管の設置を行うため令和6年度当初予算要求において、次の事業を盛り込んでいます。

これらの具体的なスケジュール等については、予算成立後お知らせしたいと思います。

- ・漏水が発生しているPC管路全体における老朽化対策の概略検討
- ・バンド設置困難区間のバイパス管設置に係る基本設計



## 工業用水道事業の経営状況について

鳥取県営工業用水道事業は、企業誘致や産業育成を推進するための重要なインフラであり、企業誘致の地域間競争等は引き続き激しい状況であることから、現在まで、企業局において取り得る経営改善策を最大限実施することにより、経営を維持してきましたが、平成21年から経常赤字が継続しており、昨今の物価高騰等の影響により、資金繰りが悪化しております。

そうした中、令和4年度鳥取県公営企業会計決算審査において、鳥取県監査委員より、エネルギー価格の高騰による動力費の増加に対応するため、給水単価引き上げの検討を開始するよう意見があったところです。

加えて、引き続き工業用水の安定供給を図るためには近い将来、抜本的な老朽化対策等が必要となることから、その際には多額の建設費が必要となります。

これらのことから、工業用水の安定供給を図りつつ経営の健全化を維持するため、平成17年から据え置いてきた給水単価について改定の検討を開始する時期にきていると考えております。

今後、ユーザーの皆様へのご説明の機会を設けながら検討を進めていきたいと考えておりますので、ご承知おきいただければと思います。